

CSRマネジメント

当社は、事業内外において社会的責任に則った活動を推進し、社会および当社の持続可能な発展を追求することを目的に、経営理念の具現化および行動指針の実践に関する基本的事項を「CSR要綱」に定めています。

当社のCSRの定義

2005年に制定した「CSR要綱」の中で当社のCSRとは、「当社が社会における良き企業市民として、経済的・環境的・社会的な各側面に配慮して事業活動を行い、様々なステークホルダー（地球環境、地域社会、株主、顧客、取引先、従業員などの利害関係者）と信頼関係を構築し、社会および当社の持続可能な発展を追求することをいう。なお、CSRには、リスクマネジメント、コンプライアンス、環境、品質、安全衛生、人権、コミュニケーションその他の各種課題が含まれる。」と定義しています。

CSR経営推進の基本方針

CSR経営を推進するための基本方針として、以下の6項目を挙げています。

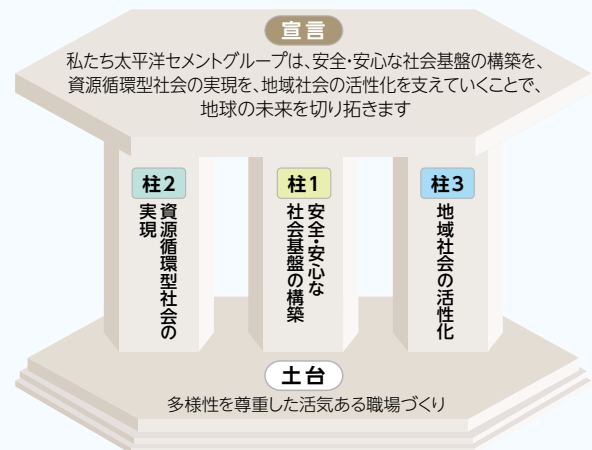
CSR経営推進の基本方針

1. 当社の経営理念・行動指針を踏まえ、目指すべき理想のCSR経営を明確にし、CSRに基づいた事業活動の進展を図る。
2. コンプライアンスを最重視する企業風土を醸成し、全役員・従業員が常に主体的に最適な判断を行うことを志向する。
3. 環境保全・人権擁護・地域貢献等が当社の社会的使命であると認識した経営を行う。
4. CSRの重点課題について、積極的に取り組み、適正な優先順位付けと資源配分を行う。
5. CSR経営推進の状況を踏まえ、ステークホルダーに対して適切な情報開示・コミュニケーションを実践し、信頼関係を構築する。
6. CSR経営推進を当社グループ全体の活動として位置付け、グループ企業全社に周知徹底する。

CSR長期ビジョン

当社は「経営理念」「行動基準」に加え、2007年8月、経営理念をCSRの観点から具現化し、10年後のあるべき姿を描いた「CSR長期ビジョン」を策定しました。「多様性を尊重した活気ある職場づくり」を土台に、「安全・安心な社会基盤の構築」「資源循環型社会の実現」「地域社会の活性化」を3本の柱として、「私たち太平洋セメントグループは、安全・安心な社会基盤の構築を、資源循環型社会の実現を、地域社会の活性化を支えていくことで、地球の未来を切り拓きます」という宣言を支えています。2010年度までに取り組みむべき具体的な施策を定めて活動を推進しています。

■CSR長期ビジョン



重要領域	施策区分	
柱1	社会基盤構築に資する当社技術を活かした社会貢献事業の展開施策(調査)	コンクリート構造物の耐久性向上支援事業
		途上国の貧困層への住宅・学校等建設支援事業
柱2	環境貢献活動のうち、ビジネスベースでは進まない自主的な環境保全施策	法規制を超えた自主的な環境負荷低減
		フローズドリサイクル(拡大生産者責任)環境技術の海外への移転・普及
柱3	地域とのコミュニケーションを深め、地域の活性化を支援する施策	地域とのコミュニケーションの進化
		地域活性化を支援する活動 海外拠点と関連した支援活動
土台	従業員自らの意識変革を促す施策	太平洋セメントグループの一員としての一体感醸成
		誇りをもって誠実に仕事に取り組む認識の共有 多様性を尊重する社風づくりの第一歩
	従業員が取り組みやすい環境を整備する施策	ワーク・ライフ・バランスを考えた快適職場 ボランティア活動への参加機会の提供